

## 対カンボジア緊急物資支援 ～プレイベン州の被災地住民に対する物資配布式典～

10月29日（火）、プレイベン州において、我が国がカンボジア政府に供与した緊急援助物資の被災地住民への配布式が開催されました。

本援助は、本年9月下旬からの当国における洪水被害を踏まえ、発電機50台、浄水器50台など約3,200万円相当の緊急支援物資をカンボジア政府を通じ全国の被災地に配布するもので、今回、洪水被害が大きかったプレイベン州を訪れて被災地住民に直接物資の配布を行いました。また、配布式では当館館員及びJICAカンボジア事務所員からの寄付として即席麺及び魚缶等も併せて被災地住民に配布しました。

同式典にはニュム・バンダNCDM首席副議長兼上級大臣、ハ・サレート・プレイベン州知事及び1,500世帯の被災地住民が出席しました。

式典では隈丸大使から、今回の洪水の犠牲者に対し弔意とお見舞いを表明するとともに、「洪水が引き、普段の生活に一刻も早く戻るよう願っている。本日配布する物資によって、被災者の皆様の苦痛を少しでも軽減できることを願う。」と述べました。

これに対し、ニュム・バンダNCDM首席副議長兼上級大臣は、「今回も日本の迅速な支援にカンボジアを代表して感謝申し上げたい。プレイベン州は、今次の洪水による死亡者数は全国24州の中で2番目に多く、公共インフラや農業セクターの多くが被害を受けており、今後は復旧を行っていく必要がある。天災被害を助け合うことで両国の更なる良好な友好関係が構築されていくことを願う。」と述べました。

最後に、ニュム・バンダNCDM首席副議長兼上級大臣及び大使より、被災地住民の代表に対し緊急援助物資及び大使館等からの寄付である食糧を直接手渡し、住民からは支援に対する感謝の意が表されました。



洪水により浸水している家々



式典に参加した本使及び大臣



我が国の緊急支援物資